福　議　委　号
令和８年１１月　日

福島町議会議長　溝部　幸基　　様

経済福祉常任委員会
委員長　佐藤　孝男

所管事務調査報告書の提出について

令和８年９月１４日福島町議会定例会９月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第１４８条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	５　所管関係施設・事業等の町内視察、執行方針の取り組み状況について
調査期間	令和８年１１月２日
出席委員	委員長　佐藤　孝男　　副委員長　小鹿　昭義 委　員　平沼　昌平　　委　員　平野　隆雄 委　員　溝部　幸基
委員外議員	議　員　藤山　大　　議　員　熊野　茂夫 議　員　木村　隆
出席説明員	町　長　鳴海　清春　　副町長　小鹿　一彦 産業課長　福原　貴之　　町民課長　深山　肇 建設課長　紙谷　一　　福祉課長補佐　福井　理央
議会事務局職員	事務局長　鍋谷　浩行　　係　長　山下　貴義 主　任　角谷　里紗

［委員会意見］

調査事件５　所管関係施設・事業等の町内視察、執行方針の取り組みについて
（令和８年１１月２日調査）

１１月２日に本委員会を開催し、-3.0m 岸壁改良工事（吉岡漁港）など５か所を現地視察、令和８年度執行方針の取り組み状況を確認したので、調査結果を次のとおり報告する。

【論点とした調査項目・意見】

１　所管関係施設・事業等の町内視察

（１）-3.0m岸壁改良工事（吉岡漁港）（産業課）

特になし。

（２）流水用集水桝（館崎・豊浜・日向地区）（建設課）

日向地区の集水桝については、長年にわたり大雨時に河川の流水が溢れ国道まで冠水する事案が発生しているにも関わらず、解決に至っていないことを憂慮する。

現地での説明では、集水桝から国道沿いを通って海へ排水させる流路設計に要因があると推察されるが、問題は国道整備当初からあったと思慮されるので、当時の経緯・これまで要望してきても改善されない点等を整理して開発に対し説明を求めるとともに、町が具体的な解決案を提示し、開発・道に対しより積極的な要望活動に取り組まれるよう望む。

（３）粗大ごみ保管場所（町民課）

粗大ごみの保管場所とした館崎のずり捨て場については、人目が無く近くまで容易に立ち入ることが可能であり、現状のままでは不法投棄等の発生が懸念されるので、~~施錠場所を道路のもっと下の方にするなど、~~よりしっかりした管理体制を整備されたい。

２　執行方針の取り組み状況について

（１）産業を活性化し、地域資源を活かすまちづくり

①持続可能な前浜資源の確保対策について（産業課水産係）

特になし

②ナラ枯れによる町内森林の被害状況と対応について（産業課農林係）

ナラ枯れの被害が町内全域に拡大しており、特に海岸沿いの急斜面に被害が多いと推察される。このまま放置すれば枯死木の倒木や大雨等による土砂災害など二次被害の発生が強く懸念されるので、この状況を放置せず

危機感を持って国有林・道有林を含めた全域の被害状況把握に努め、被害の拡大防止・二次災害の未然防止に向けて国や北海道などの関係機関に対し、調査体制の強化と対策の実施を強く要請していく必要があると思慮する。

③岩部クルーズの運航実績と課題について（産業課商工係）

令和８年度は天候不良による欠航が多く、乗船を目的に来町した観光客が利用できない状況が生じている。欠航時においても、せっかく来町してくれた観光客をそのまま帰すのではなく、町内での滞在につながるような観光メニューや町内観光施設への誘導など、受入体制の充実に向けた取り組みが必要と思慮するので検討されたい。

④プレミアム商品券の発行状況と課題について（産業課商工係）

特になし。

（２）福祉・医療が充実し互いに認め合えるまちづくり

①温泉健康保養センターの利用状況等について（福祉課）

特になし

②各種ガン予防対策の取り組み状況について（福祉課）

特になし。

（３）生活基盤が安定し、安全安心に暮らせるまちづくり

①町営・町有住宅の利用状況と課題について（建設課）

資料の作成にあたっては、年度毎の入居率や空室数等の推移が把握できるよう、~~過年度の年度毎の数値が分かる~~一覧表を掲載するよう望む。

②町内の空家状況と補助金制度利用実績について（建設課）

特になし。

③浄化槽整備の普及状況と課題について（町民課）

資料の作成にあたっては、年度毎の設置基数や汚水処理人口普及率等の推移を把握できるよう、~~過年度の年度毎の数値が分かる~~一覧表を掲載するよう望む。